

新型コロナウイルスに対する 3回目のワクチン接種に関して

川口市立医療センター

病院事業管理者

おおつか

大塚

まさひこ

正彦



新型コロナウイルス感染症による世界的なパンデミックが始まってから2年以上が経過しています。日本においてはワクチン接種率の上昇と共に急激に感染者数が減少し、明るい未来が見えたと思われましたが、オミクロン株の出現により、第5波以上の感染爆発が起きています。現在3回目のワクチン接種が始まっていますが、皆さんはこの3回目のワクチンをどのように考えているのでしょうか？3回目のワクチン接種によりオミクロン株に対しても入院を防ぐ効果が90%あり、また死亡率が90%以上減少したとの報告もあります。さらに我々の施設でワクチン接種後の抗体価を測定した結果、2回目接種後6カ月の平均は690でしたが、3回目接種後の平均は2万で、3回目接種前の29倍と大幅な増加が認められました。抗体だけではなくワクチンは細胞性免疫にも効果があります。ワクチンは1回目と2回目で体にウイルスを敵と認識させて記憶させていますが、3回目でこの記憶を強固にして長持ちさせるとされていて、これで重症化を防いでくれます。なお3回目が違うワクチンである交接種の効果も同様に認められていて、安全性も確保されることが報告されています。我々の目標は感染しないことはもちろんですが、最も重要なことはたとえ感染しても重症化しないことです。呼吸器疾患の重症とは人工呼吸器につながれるという極めて厳しいもので、この苦しさはワクチン接種後の一般的な副反応の比ではありません。重症化を防ぐために、ぜひ少しでも早く3回目の接種をご検討ください。